



東日本大震災と人材育成

日時：平成 23 年 **11** 月 **18** 日（金） 13:00～17:15（17:30～19:00 懇親会）

会場：仙台ガーデンパレス（仙台市宮城野区榴ヶ岡 4 丁目 1 番 5 号 TEL022-299-6211）

－ プログラム －

講演 1：「震災復興の構想力」

仙台大学教授 高成田 享 氏

講演 2：「脱原発時代を支える人材確保・人材養成の課題」

九州大学副学長／九州大学大学院比較社会文化研究院教授 吉岡 斉 氏

講演 3：「大震災以後の科学技術と人材育成」

東北大学理事／東北大学大学院文学研究科教授 野家 啓一 氏

Everyone
is Welcome!

3 月 11 日の東日本大震災は、死者・行方不明者 2 万 2000 人強という甚大な被害を出し、いまなお 11 万人が避難暮らしを余儀なくされ、原発事故は依然として終息していない。その被害総額は現時点ですら 25 兆円に及び（内閣府統計）、さらに今後復旧・復興費用を含め、巨大な額に達すると思われる。大学・高等教育機関の人的被害は少なかったが、被害は 24 都道府県の 218 機関に広がり、国公立大学の被害は 900 億円を超えると推計されている。大学自身も被害を受け、PTSD への対応など学生支援をはじめとする対策も重要であり、さらに地域医療や社会の危機管理など復旧・復興に大学の果たす役割が期待されている。

また、大震災を通じて、原子力発電のように巨大なリスクをはらむ科学技術を使いこなす上で、大学・研究者のあり方が浮かび上がってきたことにも大学としては深刻に受け止めなければならない。特に、直後の物資輸送・救援活動や原発事故への対応、復旧活動の遅れは人災というべきである。社会を担うリーダーを育ててきたはずの大学教育が、いかなる人間を育ててきたのかという強い自己反省を持たざるを得ないし、今後、どのような人材を育てていくかを改めて問い直されている。

今回の IDE 東北地区セミナーは、以上の問題意識の下に企画した。ぜひ多くの参加を期待したい。

- 参加者の推薦、募集及び決定：
参加を希望される方は別紙「参加申込書」によりお申し込み願います。郵送またはファックスでお申し込みください。また、申込書の記載事項をお書きいただければ、メールでお申し込みいただいても構いません。
- 募集締切：平成 23 年 11 月 7 日（月）到着分まで
- 参加者の決定：事前にお申し込みいただければ参加いただけますが、お申し込み多数にて参加いただけない場合は、その旨通知いたしますのでご了承願います。
- 参加費用：
（1）セミナー参加料は無料ですが、セミナー参加に係る交通費、宿泊費等は全て参加者のご負担とさせていただきます。
（2）懇親会に出席される方は、会費 3,000 円を当日会場にて申し受けます。
- 連絡先・ご参加お申込先：
IDE 大学協会東北支部事務局 〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目 1-1
○ TEL：022(217)4852 ○ FAX：022(217)4814 ○ E-mail：hisyo@bureau.tohoku.ac.jp